

ピアノレッスン&試験について

本学ピアノレッスン及び試験について

実施日	◎ 4月11日(日)	受付期間	3月15日(月)～ 3月26日(金)	締切済
	◎ 5月 9日(日)		4月12日(月)～ 4月23日(金)	
	◎ 6月 6日(日)		5月10日(月)～ 5月21日(金)	

手続方法：ピアノ受講・受験申込書に必要事項を記入し、証紙を貼付して、「通信教育学務課ピアノ係」に送付してください。

※平成16年度以降入学者は入学時に送付したピアノ用紙綴をご使用ください。

※旧カリキュラムの学生は同封別紙

実施会場・集合場所

当日、正門・7号館学生入口に掲示します。

開館施設

ピアノ練習室、通信教育学務課(5号館2階)

8：30～16：30(練習室は～17：00)

図書館(新1号館6階)

9：00～17：00

受講料

2,000円(本学発行の証紙)

切手は必要ありません。

持 物

音楽I/音楽実技I・II受講・受験許可証(B票)、ピアノレッスン記録表、学生証、教則本(バイエル・アドヴァンス・エチュード・ピアノマーチ曲集・幼児とともに)、ピアノ進度記録カード(初回集合時に配布)、上履き

注意事項

申込みについて

※お申込みはレッスンまたは試験のいずれかになります。

※試験結果が申込期間内に届かないことを理由にした期間外申込みは受理できかねますのでご了承ください。

※試験結果を反映した申込みを希望する場合は、あらかじめ申込みを済ませておき、申込期間内に電話にて変更手続きを行ってください。申込期間内であれば試験とレッスンの変更、受験曲の追加とも受け付けます(ただし申込期間外は曲目の変更のみの受け付けになりますので間違いのないようお気をつけください)。

※申込期間終了後のレッスンから試験へ、または試験からレッスンへの変更はできません。申込期間終了後でも曲目の変更は可能ですが、追加はできません。

その他注意事項

※集合時間は本学で指定します。

※試験日の5日前までに受験票が届かない場合はご連絡ください。

※試験の場合、事前に受験曲をピアノレッスン記録表に記入しておいてください。

※学生らしい服装で受験・受講してください(ジーパン及び短パン・キャミソール(過度な露出)は避けてください)。

※「履修と学習の手引」、「学習のしおり」の「ピアノについて」のページをよく読み、レッスン・試験を受けてください。

平成22年度 地方ピアノレッスン・試験の実施について

本学以外にあって、より効果あるピアノ学習が進められるように、学外でピアノレッスン・試験を年4回実施しております。このレッスン・試験は、本学から教員が出張して実施するもので施設は河合楽器の協力により行われています。この地方でのレッスン・試験は、ホームレッスンの確認の機会として、また、基本的なテクニックをより高めるための指導を受ける機会となっており、本学のレッスンと変わりありません。本学同様試験も実施しています。

実施日	◎ 6月20日(日)	受付期間	5月 6日(木)～ 5月21日(金)	会場	札幌・仙台・新潟・名古屋
	◎ 9月 5日(日)		7月20日(火)～ 8月 6日(金)		札幌・仙台・新潟・大阪
	◎ 11月21日(日)		10月 4日(月)～10月22日(金)		札幌・仙台・新潟・名古屋
	◎ 1月23日(日)		11月22日(月)～12月10日(金)		札幌・仙台・新潟・名古屋

手続方法：本学ピアノ試験・レッスンと同様です。その際、用紙の左上余白に朱書きで「地方試験申込〇〇会場」と書き添えてください。

受験資格

原則としてその地区の学生

集合時間

時間は受講人数によって異なります。

受講料

4,000円(本学発行の証紙)

切手は必要ありません。

持 物

持物については本学(松戸)実施のピアノレッスン試験と同様です。

注意事項

※各会場とも受付人員により集合時刻を決めますので、必ずお守りください。

※受付の際には、必ず学生証・受講・受験許可証・ピアノレッスン記録表を持参してください。

※地方ピアノレッスンには学割利用が可能です。(101km以上)

※申込人員が4名以下の会場では、勝手ながら実施を取止めにいたしますので、あらかじめご了承ください(その際は通信教育学務課より個別にご連絡いたします)。

※欠席等の連絡は河合楽器の方に教員への伝言をお願いしてください。大学へ連絡いただいても職員は出勤しておりませんのでご注意ください。

実施会場

①札幌会場【011-231-8661】

札幌市中央区北二条西3-1-7富国生命ビル7F札幌駅前スクール

②仙台会場【022-261-5722】

仙台市青葉区一番町4丁目3番28号 カワイ仙台ショッパ3F

③新潟会場【025-228-4191】

新潟市中央区東堀前通6番町1057番地 新潟センター教室

④名古屋会場【052-962-3939】

名古屋市中区錦町3丁目15-15 有楽河合ビル
カワイ名古屋ショッパ

⑤大阪会場【06-6345-5266】

大阪市北区梅田1-1-3-100 大阪駅前第3ビル 梅田ショッパ

※会場に変更がある場合もありますので、注意してください。変更がある場合は許可証と一緒に地図を同封させていただきます。

お願い

ピアノレッスン・試験において、下記の点についてご協力をお願いいたします。

①欠席する場合は必ず連絡を

急用や体調不良等で欠席される場合には必ず通信教育学務課までご連絡ください。ただし、申込期間後の取消しの場合、証紙はお返しできませんのでご了承ください。なお、欠席が事前にわかっている場合はなるべく前日までにご連絡ください。
レッスン・試験当日(日曜日)の連絡先は
047-365-1148(休日専用)になります。

②集合時間の10分後までに名簿に記入

この時間までに名簿に○がない方は欠席とみなしクラスの組み替えを行います。ご注意ください。

③遅刻の連絡は集合時間の30分前まで

集合時間30分前までに電話等で連絡をいただければ遅刻も対処いたします。ただし事前に連絡をしても、開始時間より到着が遅れた場合は受講できません。

ピアノ練習室の利用について

ピアノ練習室での飲食は禁止になっています。また地方会場でのピアノ練習室も同様に飲食は厳禁です。マナーを守って利用してください。
また、練習室を離れる時は、短時間であっても必ず貴重品を携帯してください。

④集合時間には必ず集合してください

出欠確認の○をつけ退席される方がいますが、急なクラス変更等を行う場合がありますので、必ず決められた時間に集合してください。なお、9:30、12:30集合時は座席・場所が足りなくなると予想されます。なるべく席を詰め、場所の譲り合いをお願いいたします。

⑤受講・受験許可証・学生証・上履きは必携

忘れた場合は受講・受験できません。再交付の手続きをいたしますので、必ず集合場所の担当職員に申し示に従ってください。特に学生証を忘れ、他に身分を証明するものを持っていない場合は受験できないこともありますので、十分ご注意ください。

レッスン及び試験会場には必ず上履きに履き替えてから入室してください。

※その他の注意事項については「履修と学習の手引」「学習のしおり」等に記載のある事項をよく読んで受講・受験をしてください。

⑥ピアノレッスン・試験の申込みについて

ピアノレッスン・試験の申込みの際「午前希望」「午後希望」等の申込みが増加しておりますが、ご希望に沿えない場合もありますのでご了承ください。

音楽Ⅰ/音楽実技Ⅰ・Ⅱ(ピアノ)課題曲について

◎ピアノマーチ曲集の課題曲のD.C.(ダ・カーポ) 他 の扱いについて
曲中にD.C.他が記されている場合は指示に従い演奏してください。

D.C.(ダ・カーポ) …… 曲の冒頭に戻りFineまで演奏
D.S.(ダル・セーニョ) … 曲の※に戻る

◎マーチの演奏範囲について(お知らせ)

マーチ47番「人形の踊り」(人形の夢とめざめより) 曲の最後の1ページ。

マーチ50番「天国と地獄」74～75ページ上から4段目まで(旧版は48番)

◎「幼児とともに」の課題曲の中には同じタイトルのものが複数ありますが、対象となる曲は下記の通りになります。ご注意ください。

◎「お化けなんてないさ」を弾き歌い・暗譜にて演奏する場合は、1番演奏後5番を弾きそのまま最後まで弾いてください。そのため、2番から4番については省略した形になります。

※音楽Ⅰ/音楽実技Ⅰ・Ⅱ(ピアノ)試験時の注意

試験受験時には、あらかじめピアノレッスン記録表の音楽実技進捗票に自分の受験曲を記入しておいてください。

※試験受験時はくり返しなし。D.C.、D.S.は指示に従い演奏してください。

「うんどうかい」(うたいだし) ♪そらはあおぞらうれしいな～(改訂版p157)

「うみ」 (うたいだし) ♪うみはひろいなおおきいな～(改訂版p102)

「こいのぼり」 (うたいだし) ♪いらかのなみとくものなみ～(改訂版p14)

※「幼児とともに」改訂版は背表紙と表紙の左上に「改訂版」と記載があるものです。

「幼児とともに」さくいんの訂正

課題曲	誤	正
うんどうかい	p156	p157
運動会	p157	p156

課題曲は、157ページの「うんどうかい」になります。訂正の程、宜しくお願いします。

ピアノの採点基準について

本学では、「アドヴァンストゥ・エチュード」「ピアノマーチ曲集」「幼児とともに」の3つのテキストを通して、幼児・児童教育の音楽表現に必要とされる学習目標に沿って指導を行います。そして、試験においても、こうした学習目標が達成されているか否かを基準に採点します。

音楽表現にはさまざまな形態がありますが、本学で開講さ

れているレッスンを受講したり、既に販売されている「音楽Ⅰ・音楽実技Ⅰ〈視聴覚補助教材〉」「音楽実技Ⅱ〈視聴覚補助教材〉」(VHS・DVD)や音楽実技Ⅰ「ポイント解説」のテキストを参考にすることで、本学の学習目標や幼児・児童教育者養成の方向性をご理解いただけます。

ホームレッスンの受講記録について

ホームレッスンを受講している学生の中でピアノレッスン記録表等の記入が徹底していない学生が見受けられます。

ホームレッスンの記録については、進度記録カード（ピアノカード）にレッスンに通っている先生の名前と教室名を記入し、ピアノレッスン記録表の半分より後ろのページにホームレッスンの先生に履修状況を記入していただくことになっ

ています。ホームレッスンを受講している学生は必ず前述の記入を徹底するようお願いいたします。なお、以前ホームレッスンに通っていたが今は通っていない、または先生が変わったという場合は必ず進度記録カードの所定欄を現状に合った形に訂正してください。

「音楽実技Ⅰ・Ⅱチェックシート」について（ご案内）

試験結果とともに「音楽実技Ⅰ・Ⅱチェックシート」を送付しています。ぜひ活用してください。

※地方ピアノ試験を受験した場合、チェックシートはありません。

「チェックシート」とは

試験受験の結果、不合格になった曲について、試験監督の先生より不合格の理由や、直すべき点を簡潔にお知らせするものです。不十分な点についてのアドバイスであるため、対象は不合格曲のみですが、場合によっては合格曲にもチェックがあることがあります。

質問票について

不合格の理由は返送されたチェックシートで確認してください。試験結果の個別の質問には応じられません。